

シンポジウム「ストップ！ ザ泣き寝入り3 in 丹波」開催報告

12月17日(日)、丹波市柏原町の「丹波の森公苑」セミナー室で、「ストップ！ ザ泣き寝入り3」を開催し、地元の消費者団体メンバーや市民など54名の参加がありました。

基調講演では、適格消費者団体「京都消費者契約ネットワーク」理事・事務局長の長野浩三弁護士による「クロレラ差止請求と裁判、適格消費者団体の活動」がテーマ。具体的な事例を交えて、京都での活動の苦労や成果などを報告いただきました。

続いての「丹波地区での最近の消費者問題」をテーマとしたパネルディスカッションでは、丹波の森公苑・生活情報活動アドバイザーの西山和さんから「平成28年度に受け付けた苦情相談の状況」を報告いただいたあと、長野浩三弁護士と山崎省吾弁護士(ひょうご消費者ネット副理事長)が加わったパネリスト3人に、鈴木尉久弁護士(ひょうご消費者ネット理事長)がコーディネーターとなって、議論を展開。消費者の連携や団結の大切さを改めて確認し合いました。

引き続きの「〇×クイズ」では会場の参加者が、きょう学んだことを中心に振り返りながら「〇×の紙」を掲げて10問のクイズに答えて、全員参加型の熱気が生まれ盛り上がりしました。

「ストップ！ ザ泣き寝入り」の開催テーマのように、元気を取り戻す1日になったようです。

(報告：理事 金井塚 春夫)